

都市再生整備計画 事後評価シート
駒形周辺地区

平成23年3月


群馬県前橋市

様式2-1 評価結果のまとめ

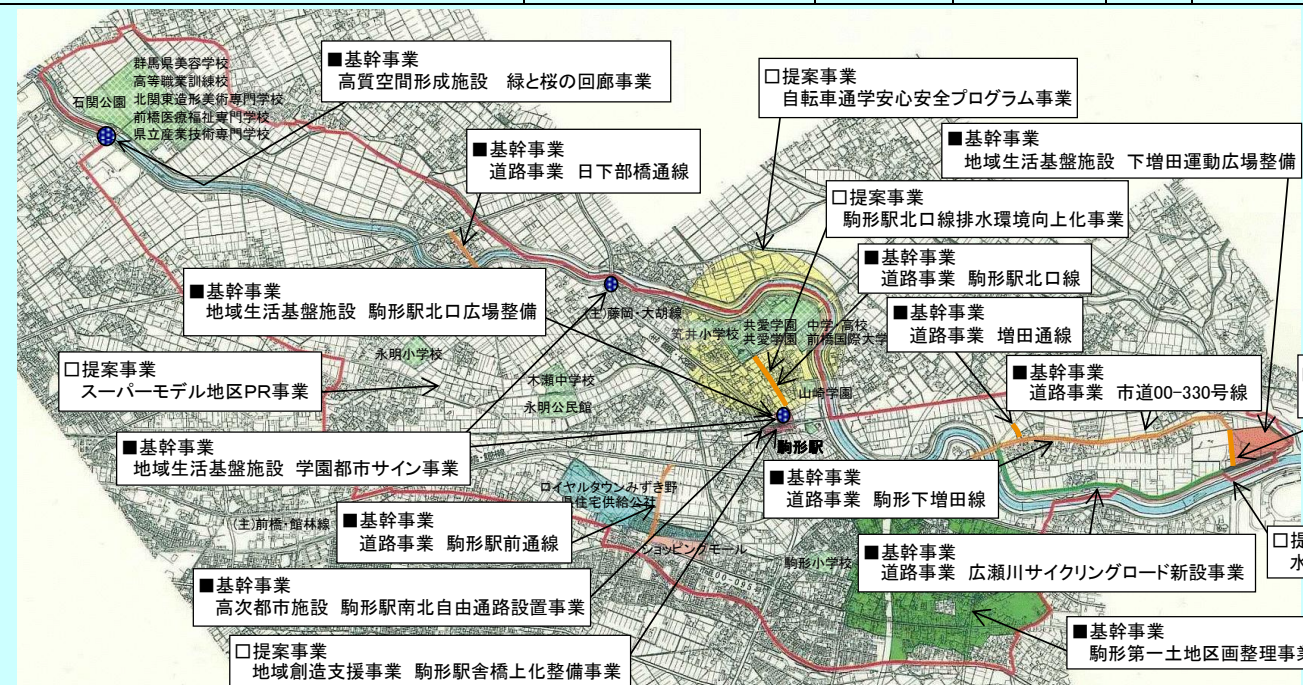
都道府県名	群馬県		市町村名	前橋市		地区名	駒形周辺地区			面積	999ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	9,865百万円	国費率	40.7%				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	市道改良事業(6路線)、地域生活基盤施設(広場整備3箇所、学園都市サイン事業)、高質空間形成施設(緑と桜の回廊事業)、高次都市施設(駒形駅南北自由通路設置事業)、土地区画整理事業(駒形第一土地区画整理事業)										
		提案事業	自転車通学安心安全プログラム事業、スーパーモデル地区PR事業、水辺広場整備										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	石関運動広場整備			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	学校施設アスベスト等撤去補修事業			既存の事業で対応可能と判断したため			指標1に関連するが、影響は軽微なため、数値目標は据え置く				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道11-796号線)道路(増田通線)			下増田運動広場整備に伴う新設道路が必要なため駒形下増田線との交差点影響部として整備が必要なため			指標3に関連するが、影響は軽微なため、数値目標は据え置く				
提案事業		駒形駅舎橋上化整備事業 駒形駅北口線排水環境向上化事業			JR駒形駅の一体的な整備を図るため 管路の移設により地域の生活環境の向上を図るため			指標2に関連するが、影響は軽微なため、数値目標は据え置く 指標1に関連するが、影響は軽微なため、数値目標は据え置く					
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	居住者数	人	13,712	H17	14,500	H22	13,342	×	あり なし	●	予想以上の人口減により目標は達成できなかったが、対象町全体の居住者数は増加傾向にあった。	H23年10月
	指標2	歩行者・自転車数の増加	人	422	H14	450	H22	294	×	あり なし	●	予想以上の人口減や地区内に新たな商業施設ができたことによる来客者の分散により、当初目標は達成できなかった。	H23年10月
	指標3	主要住宅団地からの駅への移動距離移動時間の短縮	m/分	300	H16	340	H22	482	○	あり なし		幹線道路整備事業により、地区内の移動における移動距離・移動時間の短縮が図られた。	H23年10月
	指標4									あり なし			
	指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	対象町居住者数	人	20,711	H17			20,779			都市再生整備計画の事業効果により、周辺地区も含めた形で居住者数が増加した。	H23年10月	
	その他の数値指標2	JR駒形駅に対する学生利用者満足度	点	2.5	H22			4.0			JR駒形駅の利便性や防犯性等の向上が図られ、学生利用者の満足度は上昇した。	H23年10月	
	その他の数値指標3	歩行者・自転車数の増加	人	235	H17			294			歩行者・自転車利用者の利用環境向上を目的とした各種事業により、効果が発揮された。	H23年10月	
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	自転車通学安心安全プログラム(モデル校:共愛学園中学校)駒形駅北口線整備に関する地元説明会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 自転車通学安心安全プログラムについては、今後も他のモデル校で継続して実施していきたい。					
	持続的なまちづくり体制の構築	駒形駅周辺防犯連絡協議会サイクリングロード沿線住民による除草活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 駒形駅周辺防犯連絡協議会については、協議会の主体的な活動にまかせ、市は後方支援に徹する。 除草作業に対するサポートを継続していく。					


様式2-2 地区の概要

駒形周辺地区(群馬県前橋市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
心・技・体を育む安全安心なスーパーモデル学園都市の形成と緑、水、スポーツ、生命を慈しみ楽しむラブリバーづくり 小目標:安全安心で心・技・体を健やかに育む欧州型のスーパーモデル学園都市の形成 小目標:環境にも健康にもやさしい自転車利用を促進し、市民が思い楽しめるラブリバーづくり 小目標:ラブリバー整備による地域の活性化と観光促進及び基盤整備		居住者数	単位:人	13,712 H17	14,500 H22	13,342 H22
		歩行者・自転車数の増加	単位:人	422 H14	450 H22	294 H22
		主要住宅団地からの駅への移動距離移動時間の短縮	単位:m/分	300 H16	340 H22	482 H22
		対象町居住者数	単位:人	20,711 H17	H	20,779 H22
		JR駒形駅に対する学生利用者満足度	単位:点	2.5 H22	H	4.0 H22
		歩行者・自転車数の増加	単位:人	235 H17	H	294 H22




駒形駅前通線の整備







自転車通学安心安全プログラム事業
自転車あんしんあんぜん教室



緑と桜の回廊事業 休憩所新設



学園都市サイン事業



広瀬川サイクリングロード新設

まちの課題の変化	様々な事業の効果により、JR駒形駅の利便性・アクセス性の向上、幹線道路整備による通学生徒の安全性・防犯性の確保、全ての世代におけるスポーツを楽しめる環境の充実、また、地域の資産であるサイクリングロードの通行環境向上等が図られ、豊かな自然環境と学園都市とが調和のとれた魅力あるまちづくりが達成できた。今後の課題としては、鉄道駅や高速道路IC等が隣接している交通結節の拠点として、JR駒形駅への更なるアクセス性の向上、生活道路における通学路整備、また、地域の資産であるサイクリングロードを用いたイベントの開催等を継続して進めることで、自然環境と調和のとれた学園都市として、更なる地区の魅力向上を図ることである。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■JR駒形駅の利便性・防犯性等の持続を図るため、都市施設である自由通路については、利用者の利便性を継続的に維持するとともに、北口駅前広場へのバス及びタクシーの乗り入れについて、継続的に乗り入れが行えるよう事業者と協力していく。 ■幹線道路における通学路整備は達成できたことから、生徒の安全性・防犯性を維持するため、「駒形駅周辺防犯連絡協議会」と市が一体となって、通学路を中心とした防犯活動を更に充実させるとともに、他の通学路整備を進めていく。 ■スポーツを楽しめる環境を持続するため、市民大会・各種スポーツ大会を開催、常設のグラウンドゴルフ場の設置などにより、スポーツに触れ合える環境を提供することで、市民及び地域住民の健全な余暇活動と健康増進を図る。 ■地域の資産である桃ノ木川・広瀬川サイクリングロードにおける良好な通行環境の維持、また、サイクリングロードを用いたイベント等の開催により、地域住民を含めた市民が自然に親しみ、環境にも健康にも優しい自転車利用の促進を図る。 ■道路事業を中心とした今後の課題については、未整備の幹線道路や通学路があることから、他の地区と調整を図りながら整備を進め、安全安心な学園都市になるよう努める。